



2022年7月14日

会社名 塩野義製薬株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 CEO 手代木 功
(コード番号 4507 東証プライム)
問合せ先 広報部長 京川 吉正
TEL. 06-6209-7885

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬 S-217622 の オミクロン株の亜種（BA.4 系統および BA.5 系統）に対する *in vitro* 活性について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬として開発中の経口抗ウイルス薬（開発番号：S-217622、以下、「本治療薬」）について、これまでに検出された変異株と同様にオミクロン株の亜種（BA.4 系統および BA.5 系統）に対する高い抗ウイルス活性を有することを非臨床試験において確認しましたのでお知らせいたします。

2022年7月現在、既存のオミクロン株と比較して感染者増加の優位性が指摘されている BA.4 系統および BA.5 系統が国内でも検出されています¹。一部の地域では BA.4 系統および BA.5 系統の検出割合が上昇して急速に置き換わりが進み、感染者数が増加傾向にあります。当社は、引き続き感染の動向を注視し、本治療薬の臨床におけるエビデンスを集積するとともに、繰り返される変異に対して、臨床分離株が入手でき次第速やかに評価を実施し、公衆衛生上有益となる情報を提供いたします。

塩野義製薬は、取り組むべきマテリアリティ（重要課題）として「感染症の脅威からの解放」を特定し、感染症のトータルケアの実現に向けた取り組みを進めております。COVID-19 が世界的な脅威として人々の生活に大きな影響を与える中、当社はパンデミックの早期終息による社会の安心・安全の回復に貢献するために、本治療薬の開発に引き続き注力してまいります。今後も状況に変化があり次第、皆さまにお知らせし、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

なお、本件が 2023 年 3 月期の連結業績予想に与える影響に関しては軽微です。

以上

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：

<https://www.shionogi.com/jp/ja/quest.html#3>.

参考：

1. 国立感染症研究所。感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の変異株について (第 18 報)。2022 年 7 月 1 日。

COVID-19 に対する当社の取り組みは、当社ホームページでも随時更新しております。また、各機関から発信されている COVID-19 に関する情報も同ページにまとめておりますので、ご参考までにご確認ください ([塩野義製薬ウェブサイト](#))。